

遅い協力金遠のく客足



人通りがない商店街＝6日、大阪市・天神橋筋商店街

「廃業の危機だ」

を急いでほしい」と訴えま

大阪府によると、1月14日に出された緊急事態宣言に伴う時短協力金の支給率は31%（12日時点）。遅れは明らかです。

まん延防止措置は、飲食店に夜8時（酒類提供は7時）までの時短営業を要請。事業規模に応じて1日4万～20万円の協力金を支給しますが、その時期は不透明です。

府は店内にアクリル板やCO2センサーの設置を求め、委託された民間の「見回り隊」が巡回している。

飲食店主からは「アクリル板もセンサーも品薄で入手できない」「委託費があれば補償に回すべきだ」などの声が出ています。

府は市内にアクリル板やCO2センサーの設置を求め、委託された民間の「見回り隊」が巡回している。飲食店主からは「アクリル板もセンサーも品薄で入手できない」「委託費があれば補償に回すべきだ」などの声が出ています。

阿倍野区でスナックを営む女性（74）は「8時まででは商売にならず、また休業です。1年もまともに営業できず、精神的にまいっています」とため息をつき、政府や府・市に厳しい目を向けます。

「コロナ禍が長引いているのは、PCR検査など打つべき手を打ってこなかった行政の責任です。十分な補償で、安心して店を休めるようにしてほしい」

大商連は大阪市に対し、協力金の迅速な支給や十分な補償、PCR検査の拡充などを求めています。稲田頭事務局長は「いまの感染拡大は普政権と、府・市一元化条例可決を優先してコロナ対策を軽視してきた維新による失政です。相談活動や行政への要請など、一人の業者も取り残さない立場で運動を強めていく」と話します。

大阪府は13日、新たに1099人の新型コロナウイルス感染症を確認したと発表しました。1日当たりの新規感染者が1000人を超えたのは初めてで、過去最多だった10日の918人を上回りました。全国で3456人が陽性となりました。兵庫県でも過去最多と

大阪初の1000人超感染 東京510人

（青柳克郎）

「5日以降、ほぼ売上げゼロの日が続いている。

緊急事態宣言（1月14日～2月28日）でも時短営業をしたが、その協力金も出ておらず、生活を切り詰めて食材を仕入れている。宣言解除から1カ月で、再び廃業の危機だ」

市内で居酒屋を営む男性（46）が話します。

大阪府は13日、新たに1099人の新型コロナウイルス

感染症を確認したと発表しました。1日当たりの新規感染者が1000人を超えたのは初めてで、過去最多だった10日の918人を上回りました。全国で34

56人が陽性となりました。兵庫県でも過去最多と

なる391人の感染が判明。東京都では3日ぶりに500人を超える510人が陽性となりました。

大阪府が確保している重症病床224床の使用率は、12日時点で90%に達しています。重症者15人が軽症・中等症患者向けの病院に入院しており、受け入れ

医療機関に対して通常医療を一部制限するよう求めています。

大阪府豊中市教育委員会は13日、市立新田小の職員60人のうち16人が感染したと発表しました。うち2人は入院中。児童の体調不良などは確認されていません。